

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

湖鳥会会報

第11号 平成21年6月 鳥取大学 工学部 電気電子工学科 同窓会 「湖鳥会」



〈目 次〉

- 学科長あいさつ
- 会長あいさつ
- 電気電子工学科卒業生数
- 教職員からのあいさつ
- 同窓会だより
- 2007年度事業報告・2008年度事業計画
- 2007年度決算報告・2008年度予算報告
- 湖鳥会役員一覧
- 湖鳥会からの連絡

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会
「湖鳥会」事務局連絡先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学 工学部電気電子工学科 気付

電気電子工学科同窓会「湖鳥会」

TEL : 0857-31-5247 FAX : 0857-31-0880

E-mail : sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp mohki@ele.tottori-u.ac.jp

ホームページ <http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp/>

◇学科長あいさつ◇



鳥取大学大学院工学研究科長
情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース
コース長 安東孝止

21世紀・最初の10年が経過しようとする今、社会・企業や大学をとりまく環境は想像を絶するほどに激しく変化してきました。この大風の中で、昨年、大学院工学研究科は、従来の電気電子工学専攻と知能情報工学専攻が合併し、「情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学コース」と名称変更して再出発しました。新組織・名称にはまだ戸惑いがありますが以前の「電気電子工学専攻」時代の伝統を引きつぎ、元気な講義・研究魂を消さないよう、全員で踏ん張っているところです。なお学部での電気電子工学科は、従来のままに継続しますが、学科も再編の動きもあり、どうなることやら……です。まだまだ完全とは言えない学科ですが、高度な専門教育の資格「JABEE：日本技術者教育認定コース」に恥じないよう社会に役に立つ実践教育の場を目指したいと思っています。

さて少し私事になりますが、アラ還世代（電気3期）のOBの一人として、近年の厳しい経済不況の風を痛感しております。去年にはなんとか就職できた学生も今年はどうなるのか？全く判りません。多くのOBの方々がそうであったように、学生が希望するやりがいのある仕事やベンチャー起業など、全力で応援したいのですが、肝心の若者が今は“チヂミあがってる”ようにも見えます。大物風の若者が激減しているのです→支援する教師サイドもそうかもしれませんが……。古雑巾ではないですが、なんとか枯れかけた知恵を絞り、活きの良い学生を少しでも多く輩出したいと願っています。大学という（あまっちょろい？）環境でもこの有様ですから、生死のかかった会社や個人企業の方のご苦勞は想像に絶します。なんとか「100年に一度の不況？」と信じて、元気に乗り越えていって頂きたいと願っています。

話は、学科から大学院に移ります。不況のせいばかりではないのですが、院への進学率が大きく増えています（50-60%）。OBの方々の社会人入学の増加が後押ししています。大学院（博士前期2年・後期3年課程）では研究を中心にやっていますが、学会や国際会議にも多くの院生が出席し（海外へも）、なかなかの成果を出しており、多くの賞を獲得して帰ってきます。若い院生の受賞報告を聞くととても嬉しく感じます。年々減る一方の研究予算の中で、英知を絞っておられる真摯な教員は今もまだ顕在の証、と勝手に想像しています。どの分野でも、どんな仕事でも、ファイトにあふれる・まじめな“本物”は、我々に勇気をくれるようです。最後は雑談になってしまいましたが、本学科（コース）さらに大学院を修了されたOBの皆様の不況をはじき返すご活躍と、新生の電気電子工学コース（院）への従来と変わらないご指導・ご鞭撻をお願いしてあいさつとさせていただきます。

◇会長あいさつ◇



昭和43年（第4期）鳥取大学工学部 電気工学科入学
勤務先：三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)
吉田和行（鳥取市在住）

会員の皆様こんにちは。湖鳥会（鳥取大学電気電子工学科同窓会）会員の皆様におかれましては、職場、活動拠点に於かれ、益々ご健勝にてご活躍のことお喜び申し上げます。

私はこの度、湖鳥会の理事会に於きまして会長をおおせつかりました吉田和行と申します。微力では御座いますが精一杯、湖鳥会、電気電子工学科の皆様にも少しでもお役に立つべく、会員の皆様、大学の

皆様のご指導を賜りながら、務めさせて頂く所存ですので、宜しくご指導をお願い申し上げます。又、鷲見初代会長には長年に渡り湖鳥会のみならず、大学、学科のためご尽力賜り有難う御座いました。引続き湖鳥会への旧倍のお力添えをお願い致します。

早速ですが、紙面をお借りし自己紹介させていただきます。私は全共闘と言われる新しい学生運動が、燎原の火の如く全国に広まり始めた、昭和43年(第4期)に電気工学科に入学しました。同年、電子工学科が設置され第1期の皆様が入学されました。この頃が学生運動のピークであり、鳥取大学も大学本部封鎖など厳しい状況が続きました。卒業(昭和47年)後暫くして、三洋電機に入社、鳥取三洋電機勤務となり、その後欧州、米国と長期に渡る海外駐在を経験し、10年前に鳥取に帰任、携帯電話をはじめとする、いわゆる黒物家電の開発製造販売に従事してまいりました。

本年4月より社名が、鳥取三洋電機(株)より三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)と変わり現在に至っています。湖鳥会が発足しました16年前の平成4年9月時点では米国赴任中で、会の存在も知らず、同窓会、大学の皆様とも縁遠く、長い空白時間がありました。帰国数年後、本当に久しぶりに大学構内を散策しました折、学生時代一本の庭木も無かった工学部の前庭に、かなりの巨木が林立し、又、一棟だけだった工学部棟が増設され多くの研究棟が建ち並んでいる様に驚き、卒業以来の時の流れを痛感した次第です。学部時代は、高須教授のもと通信研究室にてご指導を頂きました。時は過ぎ、気がつけば、多くの先生方はすでに大学を去られ、ご挨拶も出来ず失礼致しております。そんな中、近年、副井先生、大北先生の最終講義を拝講できたことは、心の奥深くよりこみ上げるものを感じた次第です。最近ですが、鳥取大学よりの国際戦略企画推進会議アドバイザーの委嘱を受けさせて頂いております。

鳥取大学工学部は昭和40年に設置されて以来43年が経ちました。発足16周年の湖鳥会の会員数も3,500人近くとなり、毎年約80人の卒業生が社会に巣立って行かれ、益々大きく、意義深い会となっています。全国でご活躍の3,500人もの同窓の友が、鳥取の地で学んだ証としての湖鳥会を、思い出多き青春を手繰り寄せられる会、会員皆様の交流の場としての会、現在の大学活動をお伝えし会員皆様の“次の一歩”への一助となれるような会、に事務局の皆様と一緒に取組んでまいりますので、引続き会員の皆様のご理解と、ご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

最後になりますが、会員の皆様のご健康と、更なるご発展をお祈り申し上げます。

○電気電子工学科 在籍生 (2009年4月10日現在)

工学部 電気電子工学科 在籍学生数 計334名

大学院 工学研究科 情報エレクトロニクス専攻博士前期課程 計70名

同情報生産工学専攻後期課程電子情報システム講座・在籍学生数 19名(電気電子関係)

○電気電子工学科 卒業生 (2009年4月1日現在)

学部卒業生総数 3,030名(1969年3月～2008年3月)

旧電気工学科 934名(1回生:1965年4月入学～24回生:1988年4月入学)

旧電子工学科 779名(1回生:1968年4月入学～21回生:1988年4月入学)

電気電子工学科 1,317名(1回生:1989年4月入学～16回生:2005年4月入学)

大学院博士前期課程(修士)課程修了生総数 766名(1971年3月～2008年3月)

旧電気工学科 131名(1回生:1969年4月入学～24回生:1992年4月入学)

旧電子工学科 173名(1回生:1972年4月入学～21回生:1992年4月入学)

電気電子工学科 501名(1回生:1993年4月入学～14回生:2007年4月入学)

大学院博士後期課程

情報生産工学専攻(電子情報システム講座)修了生総数 51名(1997年3月～2009年3月)

(1回生:1994年4月入学～12回生2005年4月入学)

◇教職員からのご挨拶◇

新任のご挨拶



情報エレクトロニクス専攻
演算制御工学講座・教授

近藤 克哉

過日、電気電子工学科に着任しました近藤克哉と申します。11月に開催された「鳥取大学 電気電子工学科 43年間の歩みと未来～旧友と母校の再会 in Tokyo 2008～」ではありがとうございました。今年の in Osaka 2009 にも参加しますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。簡単に自己紹介させていただきます。兵庫県丹波市の出身で慶應義塾大学で学び、卒業後、通産省特許庁、姫路工業大学などを経てこちらに赴任しました。赴任前より学会を通じて鳥取大学のことは知っていましたが予想以上に良い大学です。まず第一に伸びしろの大きい学生が多い、第二に教育システムが充実していて、(卒業時の学力) / (入学時の学力) の比が大きい、第三に鳥取は意を集中して勉強するのに向いています。良くない点もありますがここでは触れないことにします。赴任前に Carnegie Mellon Univ. で研究したのですが、日本のそれとはずいぶん違いいろいろあるのですけれど特筆すべき点をひとつ挙げると「工学は面白い、役に立つものだ」と実感できることです。専門分野はコンピュータビジョン(観て解釈する技術)ですが、鳥取大学でそのような教育や研究を実践できたら幸せです。大学時代にきっちり勉強しておいてよかったと感じる時があります。社会に出る前にしっかり勉強しておくことは大切です。尽力します。いろいろお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

新任のご挨拶



情報エレクトロニクス専攻
電子素子応用工学講座・教授

李 仕剛

鳥取に来て1年半が経ちました。何故か最近、もっと長くこちらに住んでいるように感じています。

す。その答えは、ますますこの地が好きのようになっていないかと思っています。

鳥取は、海があり、山があり、環境が豊かなところです。町が静かで、清潔で、にぎやかな都会から出張で帰ってくると、自然に落ち着くようになります。

昨年夏に、久々に家族で海水浴に行きまして、美しい浦富海岸の風景に魅了されました。また、町にはお寺が多く、散策のところも多いです。これからは、鳥取の良さをどんどん発見する気がします。

生活面では、鳥取が好きになり楽しんでいる一方、研究はまだ軌道にのせていません。現在は、情報化社会でグローバルな競争が起こっています。激しく変化する世の中に、ゆっくりやれる息が長い研究を見つけて行きたいと思っています。そのヒントは、身近なところから探し出したいと思っています。

新任のご挨拶



情報エレクトロニクス専攻
電子物理工学講座・助教

木下 健太郎

湖鳥会の皆様、はじめまして。

私は2008年4月より鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻の助教に着任しました木下健太郎と申します。出身は神奈川県横浜市、現在は大学から徒歩10分程度のアパートに妻と娘と3人で暮らしています。この徒歩で職場に通えるようになったという事実は大変重要で、毎朝のラッシュから解放された喜びは筆舌に尽くしがたいものがあります。鳥取大学で採用して頂く以前は株式会社富士通研究所にてメモリ材料の研究開発に従事していました。入社前は博士号を取得した東京大学の出身研究室にポスドクとして残っていましたが、強誘電体メモリという強誘電体の分極を利用した高性能のメモリに興味を持ち、その分野の先駆者であった富士通に直接電話して「強誘電体メモリに興味があります。面接して頂けませんか。」と頼み込みました。その様な経緯で採用して頂いたこともあって、入社後は張り切って研究しました。実験設備は比較的自由に使用できたため、定時までの業務を終えた後、夜は自分の研究に没頭していました。深夜に帰宅する毎日でしたが、楽しく、充実していました。しかし、入社後暫くすると「言われたことだけやっていたら良いではないか」とか「何をやってもインテル

等の強豪に勝てるわけがない」という雰囲気の中で社内が満ちていることに気付きました。無駄になるかも知れない研究は端からやらないというわけです。無論、価値観は人それぞれであることも心得ていますが、恵まれた設備に囲まれながら何と勿体ないことか。「そもそも研究者とは勝敗や報酬以前に研究自体の魅力に突き動かされるものではないのか？」この疑問が私に大学へ移ることを決意させました（尤も景気の悪化により企業の基礎研究が縮小の一途であったことも理由のうちですが）。学問・研究は損得とは無関係に人生を豊かにしてくれるものです。その楽しさを少しでも多くの学生と共有し、伝えることができればと思っています。「研究よりパチスロの方が面白い。」などという学生の言葉にがっかり来ることもあります。未熟者ですがどうぞよろしくお願いいたします。

◇同窓会だより◇

関東地区で同窓会開催！

旧友と母校の再会 in Tokyo 2008

～鳥取大学電気電子工学科、43年間の歩みと未来～

日時：平成20年11月22日（土）

場所：大田区産業プラザ（東京都大田区）

主催：鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学講座

共催：鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会「湖鳥会」、鳥取大学工学部、鳥取大学産学・地域連携推進機構

一昨年のお阪に引き続き、昨年は東京蒲田において同窓会を開催いたしました。ご多用にもかかわらず40名の卒業生にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

同窓会では以下のような式次で講演会を行いました。●岸田副学長挨拶、●西守電気電子工学コース長挨拶、●電気電子工学科同窓会「湖鳥会」副会長挨拶（東芝グループ風紋会会長 川端哲男氏）、●工学部ならびに電気電子工学科（旧電気工学科および旧電子工学科）の歩み（岸田教授）、●現在の電気電子工学科（西守教授）、研究紹介（李教授、市野准教授、笹岡助教）、●卒業生の活動紹介（波多浩昭氏：NTTコミュニケーションズ、田中章人氏：三菱電機、戸田典彦氏：沖電気）。司会は伊藤教授が勤めました。さらに、講演会終了後に三井ガーデンホテル蒲田において懇親会を開催いたしました。世代を超えた同窓会を開くこ

とにより、先輩、後輩の繋がりを強めることができただけではないかと感じております。ご参加いただきました卒業生の皆様並びに教員の皆様に感謝いたします。

今年度は関西地区において同窓会を開催する予定です。同窓会に足をお運びいただければ幸いです。

（助教 笹岡）



「鳥取大学電気電子工学科 43年間の歩みと未来～旧友と母校の再会 in Tokyo 2008～」に参加して



昭和61年度卒業
電気工学科専攻

波多浩昭

昨年11月に蒲田駅近くの大田区産業プラザで開催された東京同窓会に出席いたしました。大学教員スタッフの皆さんから、現在の大学の状況や研究のテーマのアップデートがあり、我々卒業生の幾人かも現在の仕事の紹介をいたしました。私も2008年3月に博士後期課程を修了させていただいたご縁で、学位取得までのお話をさせていただきました。修士を修了して丁度20年後に再び大学の卒業式に参加させていただいたのですが、私が学生時代のことを振り返りますと、一期生の先輩方はちょうどいまの私の年齢だったわけです。それが20年経ち、構成年齢や人数も多くを数え、湖鳥会もまさに成長していたことを改めて感じました。以前の会報で鷺見前会長が述べられたように、湖鳥会の趣旨である卒業生の懇親と現役学生のバックアップに加え、同窓会自身への

エンカレッジメントという第3の役割も現実的になってきたように感じます。一期生の有馬先輩は、現在博士課程在学されています。一緒にお話をさせていただきだけで「私ももっとがんばらなきゃいけないな」と力をいただきました。改めて、私も湖鳥会に何かしらの寄与をしたいものだと思わせてくれるような同窓会でした。

現在の所属：NTT コミュニケーションズ(株)
先端 IP アーキテクチャセンター

「旧友と母校との再会 in Tokyo 2008」に参加して



平成 12 年度卒業
電気電子工学専攻

中 村 陽 一

昨年末、東京では 2006 年の開催時に続き二回目の開催となる大学主催の同窓会に参加いたしました。前回同様に年代、企業を超えた多くの方が集い、在学中にお世話になった諸先生方とも再会を果たすことができたことは大変有意義でありました。

講演会にて研究紹介、先輩方の講演を聴講し、大学が企業人に近い感覚にて成り立っていることに対する驚きや、先輩方の背中を垣間見ることが出来たことによる自分自身に対する意識向上ができました。その後の懇親会ではまさに垣根を超えた交流を深めさせていただきました。日々企業人として自分の道を掘り下げていくわけですが、ふと目線を上げて違う視点で物事を見渡す機会を頂けたことで会社生活とは違った刺激を受け、まるで叱咤激励を受けているように感じました。

今後も、大学と OB、また OB 同士を結びつけ、新たな連携を生むことができるこの活動を続けていただき、大学、企業ともに躍進していける集いになっていくことを期待しております。

現在の所属：日本無線株式会社
海上機器技術部
海事衛星グループ

◇ 事業報告・計画 ◇

● 2007 年度 事業報告

1. 2008 年度理事会の開催
2008 年度 9 月 19 日 (金) 18:30 ~ 19:30
鳥取大学湖山クラブにて理事会を開催しました。

2. 新同窓会長の人事

旧会長：鷺見育亮氏 (鳥取環境大学教授)
新会長：吉田和行氏 (三洋コンシューマエレクトロニクス・取締役)
鷺見前会長には顧問に就任していただきます。

3. 連絡先不明の理事を役員から除名する件について

昨年度の理事会で決定されたとおり、連絡先不明の理事を一旦、湖鳥会役員名簿から外させていただきました。また、新任幹事として笹岡直人氏に就任していただきます。

また、今後は、4 年生から修士課程 (博士前期過程) に上がる学生のうち 2 名程度を選任し、修了後に理事として加わってもらうようにすることもあわせて決定しました。

4. 工学部同窓会会長専任について

今年度中に電気電子工学科同窓生より工学部同窓会会長を選出する必要があります。今後は、学外幹事の意向も伺いながら人事を検討する必要があると思われれます。

→理事会としては、新会長の吉田氏に工学部同窓会会長についていただく方向で、相談に当たることが決定されました。

5. 2007 年度卒業・修了生の入会手続き及び会費 5,000 円を徴収しました。

6. 名簿データ管理・修正作業

卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理、修正を行いました。この作業にはパート職員を雇用し、作業の効率化を図りました。

7. 湖鳥会ホームページの更新

電気電子工学科 立木技術職員の協力のもと、湖鳥会ホームページの更新作業を行いました。

● 2008 年度 事業計画

1. 2008 年度理事会の開催
2. 入会手続き・会費徴収作業
2009 年度卒業生の入会手続き及び会費 5,000 円の徴収作業を行う。
3. 名簿データ管理・修正作業
卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理・修正を行う。
4. 工学部との連携
今年度も、工学部同窓会幹事会に湖鳥会より学外幹事および笹岡直人 (学内幹事) が参加し、工学部同窓会の運営を行う。

5. 湖鳥会ホームページの更新
学生アルバイトによる作業の効率化を図る。

6. 会報の発行
2009年3月を目途に会報を発行する。

7. 会費の請求
名簿の発行に際して、2,000円×3年=6,000円（名簿発行時に請求）を請求する。

8. 鳥取大学電気電子工学科同窓会～旧友と母校の再会～の開催補助。

◇ 2007年度決算報告 ◇

◇ 2008年度予算案 ◇

収入の部（単位：円）

項目	2007年度 予算	2007年度 決算	2008年度 予算（案）
同窓会・ 設立基金	0	0	0
入会金	300,000	310,000	300,000
会費	0	0	0
利息	0	1,080	0
前年度繰 越金	742,065	742,065	790,245
合 計	1,042,065	1,053,145	1,090,245

支出の部（単位：円）

項目	2007年度 予算	2007年度 決算	2008年度 予算（案）
設立総会 準備費用	0	0	0
会報発行	280,000	0	280,000
名簿発行	0	0	0
名簿管理 アルバイト	20,000	20,000	20,000
総会補助	0	0	0
学科補助	0	0	120,000
事務費	150,000	115,200	150,000
会議費	20,000	127,700	20,000
通信費	0	0	10,000
慶弔関連	0	0	0
その他	60,000	0	0
繰越金	0	790,245	490,245
合 計	530,000	1,053,145	1,090,245

◇ 特別会計 ◇

収入の部（単位：円）

項目	2007年度決算
定期預金	1,715,791
利子	4,151
合 計	1,719,942

支出の部（単位：円）

項目	2007年度決算
	0
繰越金	1,719,942
合 計	1,719,942

◇ 湖鳥会役員一覧 ◇

会長（1名）

吉田和行（第4回電気・三洋電機コンシューマーエレクトロニクス）

顧問（1名）

鷲見育亮（第1回電気・鳥取環境大学）

副会長（若干名）

川端哲男（第2回電気・東芝）
安木秀明（第3回電気・三洋電機）
豆田順一（第1回電子・日立製作所）

監事（2名）

松岡良明（第1回電気・三洋電機）
井上健太郎（第2回電子・三洋電機）

幹事（若干名）

加納尚之（第17回電気・米子高専）
岸田 悟（第4回電子・鳥取大学）
北川雅彦（第3回電子・鳥取大学）
田中堅太郎（第7回電子・三洋電機）
藤村喜久郎（第14回電子・鳥取大学）
西浦順一（第15回電子・日本セラミック）
有岡正登（第17回電子・日本セラミック）
大木 誠（第18回電気・鳥取大学）
安東孝止（第3回電気・鳥取大学）
笹岡直人（第10回電気電子・鳥取大学）

理事（若干名）

藤井滯士（第1回電気・近畿電気工事）

鳥取県からのお知らせ

- 松本昭夫 (第2回電気・三菱電機)
- 奥田和基 (第4回電気・西部電気建設)
- 山下政美 (第4回電気・リコーマイクロ)
- 石田義則 (第5回電気・日立製作所)
- 畑 博道 (第5回電気・自営業)
- 川上孝志 (第6回電気・三洋電機)
- 深田哲司 (第6回電気・松下電器)
- 原田光夫 (第7回電気・三洋電機)
- 清水 恵 (第9回電気・三菱電機)
- 宮脇一彦 (第9回電気・三洋電機)
- 大賀昌二 (第10回電気・日立製作所)
- 表 則夫 (第13回電気・三洋電機)
- 岸田達治 (第14回電気・三洋電機)
- 竹内克徳 (第14回電気・三洋電機)
- 吉田清春 (第15回電気・三洋電機)
- 米村幸雄 (第16回電気・リコー鳥取技術開発)
- 里 友成 (第17回電気・三洋電機)
- 山方秀則 (第17回電気・三洋電機)
- 立花慶治 (第18回電気・大学生協)
- 山根一博 (第18回電気・三洋電機)
- 原 雅人 (第19回電気・鳥取空港)
- 村上 博 (第1回電子・ニッポ電機)
- 寺谷茂樹 (第3回電子・三洋電機)
- 栗本保夫 (第5回電子・福田設備設計事務所)
- 山根幹仁 (第6回電子・三洋電機)
- 岡本公夫 (第8回電子・竹田電子工業)
- 河原宏之 (第8回電子・日本電装)
- 桑田孝明 (第8回電子・日本電気)
- 岡垣光則 (第9回電子・三洋電機)
- 原川藤夫 (第10回電子・持田製薬)
- 三木公保 (第11回電子・三井造船)
- 椎木正敏 (第12回電子・日立製作所)
- 西村 晋 (第13回電子・三洋電機)
- 福島 淳 (第14回電子・日本電気)
- 村上 誠 (第18回電子・三洋電機)

◇ 2008 年度同窓会理事の改選を行いました。

電子メールアドレス

会長及び学内幹事の電子メールアドレスは以下の通りです。

湖鳥会へのご意見やこの欄での記事等がありましたらご連絡お願い致します。

氏名	電子メールアドレス
大木 誠	mohki@ele.tottori-u.ac.jp
岸田 悟	kishida@ele.tottori-u.ac.jp
笹岡 直人	sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp
ホームページ	http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp



皆さんは「ふるさと納税制度」をご存知ですか？これは応援したい地方自治体に寄付することにより、その自治体に納税したのと同じ効果が得られるものです。

鳥取県では「鳥取県子ども未来基金」を設置し、子どもたちを対象とした次の取り組みを行うこととしています。

子どもたちへの本の贈り物

「生きる力」を培うための図書の充実を図ります。

Let's ジュニアスポーツ

ジュニア選手の発掘・強化や中・高等学校の運動部活動の強化支援を図ります。

皆さんも、ご親戚や友人、鳥取にゆかりの方などにこの制度を是非紹介していただき、鳥取の子どもたちの未来を応援して下さい。

問い合わせ先：教育委員会教育総務課

TEL：0857-26-7505・7529

寄付の手続き、詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/kodomomiraiikikin>

鳥取県子ども未来基金

検索